



# 会報

第22号

発行年月日 平成13年11月18日  
発行人 会長 小林 秋朝  
編集者 大西 正悦  
日本指圧専門学校同窓会  
東京都文京区小石川2-15-6  
〒112-0002 TEL 03-3813-7354  
題字 山内貞四郎

墓前で合掌する浪越和民氏



## 光壽院徳誉明翁居士

# 故浪越徳治郎先生一周忌

平成十三年九月九日午前十一時、早朝の雨もあがり銀杏の枝葉が瑞々しく映える東京・小石川の浪越家菩提寺傳通院本堂で、母校創設者浪越徳治郎先生（平成十二年九月二十五日逝去）の一周忌法要が、施主浪越満都子氏（校長）により執り行われた。

本堂祭壇には、お供物、生花が、浪越満都子氏、浪越和民氏（理事長）、親族のほか日本指圧協会、日本指圧専門学校同窓会から献花され、導師、式衆による追善供養読経のなか、恩師浪越徳治郎先生を追慕しながら焼香が行われた。

本堂退室後、参列者は浪越家の墓地へ参拝。講堂でのお斎（とき）の会席へと移り、小林秋朝氏



（同窓会会長）の司会で開宴。徳治郎先生のご遺影が飾られた祭壇に向かい一同黙祷を捧げ、浪越満都子氏から列席者に丁寧なお礼のごあいさつがあった。

献杯の発声は石垣惟一氏（元副校長）によって行われた後、煙山力氏（文京区長）、芝崎正氏（元実業之日本社）、稲場哲夫氏（日本指圧協会理事長）、藤澤宗義氏（元琴之富士関）、石塚寛氏（副校長）から徳治郎先生との交流を通しての思い出やエピソードが語られた。

井尾栄氏（二十一期生）から九月のイタリア指圧国際大会のために用意した自作の横断幕をご遺影の御前で披露する一幕もあり、話題の尽きないなか、恩師徳治郎先生を偲ぶ和やかな会も終宴を迎え、最後に浪越和民氏から「今後もしご支援をいただきたい」とのごあいさつがあり、一周忌法要は滞りなく営まれた。（参会者 親族二十八名、一般三十九名）

# 傳通院で行われた

9月9日

# 心によみがえるあの言葉

## 区長室まで

## 来て激励を

文京区長

煙山 力



初めて区議に立候補した時、徳治郎先生が後援会会長を快く引き受けて下さり、徳治郎先生が応援に来てくれると、大勢人が集まってくれて初当選。以来区長になるまで、常に力になっていただきました。今日あるのも先生の御陰です。先生のTPOを心得た、人の気をそらさない当意即妙の素晴らしいお話は、人の心をとらえ、感動を与えたものでした。

区長に当選した時、新庁舎の区長室に、あの快活な笑顔で、お祝いに来て下さり、大きな部屋に驚かれながら「ご立派になられましたね」と誉めていただき、

区政に頑張るよう激励して下さいました。その翌日、先生が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

区政に頑張るよう激励して下さいました。その翌日、先生が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

区政に頑張るよう激励して下さいました。その翌日、先生が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

# 一世を風靡した「三分間指圧」

元実業之日本社

芝崎 正

徳治郎先生の「三分間指圧」の本が出版されるや、

当時文庫本の初版は五千部が相場でしたが全国の書店から注文が舞い込んで、増刷に次ぐ増刷で、実に七十万部を越す異例の大ベスト

セラーになりました。内容はもとより、本の題名「三分間指圧」が大衆に身近に感じられて売れたのではないかと思えます。

多忙な徳治郎先生の取材は夜でした。私も酒が大好きなので、すっかり意気投合して深夜まで飲みながら話されるのを速記して家に

帰り、原稿に清書して、早朝上野宝ホテルの近くのサウナにいる先生に届けて目を通してもらうという随分とタフな仕事をしました。

指圧には素人の私は「指圧は一押し何秒か、何分か決まりで圧すのですか」という質問をした時「ピンと閃いて、あの一世を風靡し

た題名が決まりました。このベストセラーをきっかけに次々と指圧の本の編

集をし、業界で「指圧のことは何でも芝崎に聞け」といわれ、私は当時「指圧記者」と呼ばれていました。

祝賀パーティーで学校長から「大変いいお話を聴かせていただき感動しました」と褒められました。これも徳治郎先生のお陰です。

祝賀パーティーで学校長から「大変いいお話を聴かせていただき感動しました」と褒められました。これも徳治郎先生のお陰です。

徳治郎先生の偉大な指圧の効用を身をもって体験したことをお話しします。

## 自己指圧で病気を克服

日本指圧協会理事 稲場 哲夫

徳治郎先生が後援会会長を快く引き受けて下さり、徳治郎先生が応援に来てくれると、大勢人が集まってくれて初当選。以来区長になるまで、常に力になっていただきました。今日あるのも先生の御陰です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

私が入院されたことを後日聞いて、思えば、あの時お別れに来て下さったのですね。感謝で一杯です。

# 徳治郎先生一周忌 と指塚供養慰霊祭

日本指圧協会

新たに16指聖

- ①指塚に刻名合祀された16指聖の前で小林会長
- ②遺族を代表してあいさつをする浪越満都子校長



平成十三年度日本指圧協会指塚供養慰霊祭は九月十六日、傳通院本堂で執り行われた。創始者浪越徳治郎先生一周忌法要と、この一年間に物故された日本指圧協会会員十六指聖の追善供

養で、ご遺族をはじめ百十余名が参列した。

導師、式衆による読経の中、指聖の名が読み上げられ、礼拝供養のご焼香が行われた。法要が終わり導師による法話、六波羅蜜の説教を拝聴後、本堂前で写真撮影。

続いて、境内織月会館で

「故人を偲ぶ会」が開催された。内城勇造理事の司会で、黙祷後、小林秋朝日本指圧専門学校同窓会会長のあいさつ、稲場哲夫理事長の献杯の後、十六指聖に縁のあった同期生、協会所属支部の諸先生方から故人の思い出が語られた。

指圧学校時代の出来事、故人から徳治郎先生を経由で頂戴した思い出の写真、指圧の指導を受けた時のこと、趣味や支部での活躍など、エピソードを交えて、豊富に、熱く語られ、生前のご様子、お人柄が彷彿と偲ばれ、感動して拝聴。瞬く間に時間が過ぎた。最後にご遺族を代表して浪越満都子校長から謝辞があった。

## 和顔愛語

### この言葉は先生の人柄

日本指圧専門学校同窓会会長

小林 秋朝

本日の指塚供養慰霊祭において、この一年間に逝去され、新たに指塚に刻名合祀された十六柱の御霊のご冥福を心からお祈り申し上げます。

昨年九月二十五日、日本

指圧専門学校創設者浪越徳治郎先生が、九十四歳の天寿を全うされましたことがつい昨日のことのように感じております。

先程、指塚に参って、新たに指聖となられた方々の

御名とともに徳治郎先生の御名を拝見し、先生の偉大さを改めて心に留めることができました。

昔、徳治郎先生に色紙を戴いたことがありました。そこには「和顔愛語」と書かれていました。仏教の言葉で、和やかな顔、そしてやわらかい言葉使いということを意味しております。

先生は、どなたにも、あの和やかなお顔と、柔らかい特徴のある話し方で接して下さり、そのお人柄は、まさにこの言葉通りでございました。

追善供養の日を迎え、徳治郎先生と新たに合祀された指聖とともに、その高徳を讃え、故人を偲び、感謝しつつ有意義なひとときを過ごしたいと思えます。

天上界では、昨年少し後から逝かれた袴姿の剣客佐藤岩治郎先生と上衣を脱ぎネクタイ半分をYシャツに入れ、腕まくりをした徳治郎先生が「壁に題す」の剣舞をお二人で舞っておられる姿が想像されます。

先生と多くの方々の思い出は尽きませんが、ご遺族の皆様方には、今後もご健勝でお過ごし下さいますようお願いいたしております。

# 躍進する世界の指圧

## フルビオ・パロンビーニ先生に感謝

日本指圧専門学校校長 浪越 満都子

二〇〇一年九月二十九日  
午前九時からローマ国立大  
学医学部付属病院ウンベル  
トプリモ大学ホール、同日  
午後三時から午後五時三十  
分までと翌三十日はサンタ



ウンベルトプリモ大学ホールでの国際大会

マリヤ大学で四百名の参加者によって盛大に国際大会が開催されました。その内容を報告いたします。  
午前九時、司会のフージ氏は、医学関係の専門記者

で「指圧に関する大規模な会議はローマで初めてであり、大変興味深く感じています」と開会を宣言。

ローマ国立大学医学部第一外科第一学部長ルイジ・フラテイ教授は「権威あるローマ国立大学で、このような国際大会を行う意義は大い」とあいさつ。

次にローマ国立大学医学部第十四回 ローマで開催

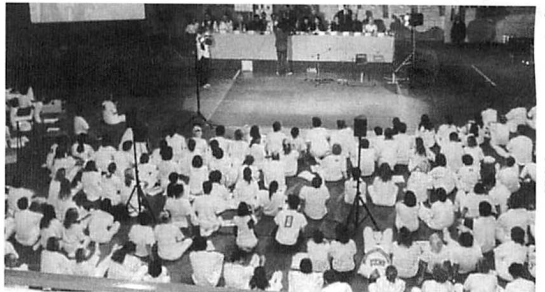
## 国際大会大成功

第十四回 ローマで開催

十時から浪越満都子大会名誉マスター（日本指圧専門学校校長）があいさつ。四千年の歴史のある永遠の都ローマにおいて第十四回指圧国際大会が開催されましたことは私の大きな喜びであります。セミナーはイタリアローマ指圧学校校長、ドクター・フルビオ・

パロンビーニ先生の多大なご協力によるものであり心

サンタマリヤ大学で



部トル・ベルガター分校フランコ・ポスタッキーニ教授が「下肢の疾病と指圧の効果」について説明。

から感謝申し上げます。この国際大会は、今後の指圧界にとって大変重要な意義のある大会です。ローマは一日にして成らず。この言葉のように、指圧もまた一日にして成らず、正しい指圧の普及には皆様の協力と地道な努力が必要です。指圧は日本で一九二二年

浪越徳治郎先生によって創始され、浪越徹先生によつ

て世界に広められました。今や指圧は日本の指圧から世界の指圧へと発展し、全世界の人々の健康に寄与し医療として用いられてきております。

日本において薬や注射、機械器具を使用しない指圧は、ますます高く評価され期待されてきております。現在、人間は地球汚染や環境破壊でストレスに苦しむ時代を迎えており、最も必要性を求められているのが

## 指圧併用で効果的

自然治癒力を喚起させる指圧であると信じます。指圧はナチュラルキラー細胞を活性化させるためにも必要不可欠なものといえます。手と指だけを用い、人体に副作用のない指圧、医療の原点としての指圧が一番正しく理解、認識され、このイタリア・ローマにおける国際大会が意義深いものとなり、世界の人々の健康と平和に貢献できますよう希望いたします。

十時三十分からは、日本指圧専門学校石塚寛教授が「指圧における効果」についてスライドを用い講演。指圧の効果は、筋肉、血管、神経など身体あらゆるものを介して至るところで発現する。筋肉では、疲労による筋肉への乳酸などの蓄積による硬結が指圧によって解消する。血管では指圧による循環促進と老廃物が排出される。今回は、神経に対する効果を講演。十一時三十分から精神神経科医・ドクター・チンツィア・ロベルティ先生が「基本的には薬剤を使用し

ながら偏頭痛を治療、指圧を併用治療し臨床結果は効果的と判断する」と説明。正午からドクター・マルコ・トラバレージ教授が「指圧をリハビリテーション」というテーマで、専門の解剖学の立場から、指圧と人体の関係、効果などを科学的に説明。

午後一時からセルジオ・アジウウス先生が医学的な指圧の効果の説明。三時から二時間半は、浪越満都子校長の背部、腹部基本指圧のデモストレーション。日本から参加した皆様の協力で実技指導。

六時から日本指圧協会桶場哲夫理事長の「頭痛に対する指圧治療法」の講演と実技指導で第一日を終了。

# 親子で盛り上げた指圧

## 因泥 文彦氏

九月三十日、午前九時三十分から始まり因泥文彦ハワイ愛泉指圧学校校長が次のようにあいさつされた。

世界各地から指圧普及に努力を続けられておられる

同志の各位、母校日本指圧専門学校から浪越校長が、

大勢の同窓生を引率の上、参加下さり、ここに国際大会が開かれました。フルビ

オ・パロンビーニ先生をはじめとする当地の皆様のご

尽力が、このように盛大な

大会の実現を生み出したことに厚く感謝申し上げます。

ハワイからは私と愛泉治療院の助手ナエフ・アブラ

ム夫妻が参加しました。私が前回、ローマに参り

ましてから二十八年になります。浪越徹先生が団長、

私が副団長で二十名を引率し、ヨーロッパ各地でデ

モンストレーションと講習会を開催しました。

ローマではフルビオ・パロンビーニ先生のお父上、

ルーディー・パロンビーニ先生が、今回同様に暖かく

お出迎え下さったことを昨日のことにように思い出します。

ルーディー先生は、一九



実技指導をする浪越満都子校長



因泥文彦氏



斎藤健泉氏(左)とパロンビーニ氏



小野田茂氏(左)とパロンビーニ氏

六四年、東京オリンピックにイタリアのライフル射撃チームの監督として参加。選手の体調向上のため浪越指圧に着目、浪越徳治郎先生を訪ね、直接指圧を学んで帰国され、積極的に指圧の普及に力を尽くされ、ヨーロッパ指圧をこまめに盛り上げて下さいました。

オランダのデニス・ビンクス先生、スペインの小野田茂先生がその後に続き、指圧は今日ヨーロッパの各主要都市、カナダ、オーストラリア、台湾にまでネットワークを広げています。自然に逆らわず、健康を生み出す神秘的な技・指圧は、将来の地球上の秩序維持のためにも必要であるとの自覚をもち、同志が力を合わせ、日々の奉仕に努力して参りたいと思います。この崇高な理念の達成のため



号令のもとで実技に励む

## 前斜角筋と腕神経叢を

### 斎藤 健泉氏

めに強い連帯と技術の研鑽に努めましょう。あいさつの後、肩こりの治療法を講演。頸部、肩甲上部、上腕部、背部、胸部の胸鎖関節部の実技指導。

## 腰痛治療は指圧が本筋

### 小野田 茂氏

午後二時三十分から、小野田茂日西指圧専門学校校長が腰痛指圧の講義と実技指導。

西洋人は東洋人に比べて仙骨の傾斜角が鋭く、立位でL5/S1の負担が大きい。スベリ症や椎間板ヘルニアは腰痛症の二〇〜二五%を占めている。以前は腰痛症の重症患者は手術と決まっていたが、世界的な医学の流れから指圧施術の価値が見直されたと説明。

午後五時から池永清カナダ・カナデアンカレッジオブシアッタラピー校長が「ブリティッシュコロビア州の医療システム」と専用イスを使った座位指圧のデモンストレーション。

オーストラリア・シアツセンターの浦川ひろ子、浦川みち子先生は三十年にわたるオーストラリアでの活動のビデオを上映された。

# 平成13年度同窓会通常総会

## 徳治郎先生を偲ぶ会

# 大勢出席盛大に

## 帯津先生の講演も好評

左から稲場氏、小林氏、浪越氏

平成十三年度日本指圧専門学校同窓会通常総会・故浪越徳治郎先生を偲ぶ会は

六月十日、東京・文京区の椿山荘に百七十七名が出席。まことに盛大であった。

### 親懇 徳治郎先生を偲ぶ 平成13年度通常総会



この一年間の大きな出来事は、私たちが敬愛する浪越徳治郎先生が昨年九月二十五日、九十四歳の天寿を全うされたことです。指圧界の支柱を失った惜別の思いは、今も私たちの心に残ります。先生のご恩に報いるためにも先生の心と技を継承していくのが、会員一同の責務です。昨年、母校創立六十周年記念誌発刊にあたっては、賛助金六百四十一件・三百万円を戴き、母校に協力出来ました。協賛金は二百四十三件・百九万二千元。いずれも会

員諸兄のご芳志の賜物と厚く御礼申し上げます。徳治郎先生の後を受け、浪越和民先生が母校の理事長に就任され、浪越満都子校長と車の両輪のごとく活躍されています。ご同慶のいたりでございます。日本指圧協会の理事長には稲場哲夫先生が就任されました。ご活躍を期待いたします。

総会は議長に佐藤玄祥、内城勇造の両氏を選任。平成十二年度事業報告を大西正悦幹事長、会計決算報告小谷田作夫会計、監査報告は中村フミ子監査が行い、満場一致で承認。事業報告の重点は①会報は徳治郎先生追悼号をふくめ二回発行した②運営委員は役員、運営委員が分担して、母校や同窓会に力を貸すこと快諾いただいた百二十三名に委嘱した③キロロ研修旅行は三十五名参加で盛大に開催された、など。会計報告では運営費(年会費)は、すでに六百名か

## 運営費納入進む

ら納入されたと報告。平成十三年度事業計画案は大西幹事長、予算案は小谷田会計が行い、満場一致承認された。事業計画案は、名簿の整理、運営費受け入れ、連絡のためコンピューター入力の促進、寄付金の窓口として協賛金制度の継続など。最後に、山田滋副会長が「今回は出席者百七十七名という盛大な同窓会となった。楽しい同窓会という思いを出を残して戴きたい」と閉会のあいさつ。記念講演は、十一時五分から「ホリスティック医学

創造性に富み、革新していく気概をもちましよう。指圧を通して社会に働きかけ、融和と尊重、共に生きる喜びの中に連帯感を共有し「創造、共生、責任」の三つの柱を掲げ、未来を指向する同窓会として、皆様の力強いご協力をお願い申し上げます。

あいさつの後、小林会長が、二人の新理事長を紹介して記念品と花束を贈呈。浪越満都子名誉会長、稲場哲夫理事長があいさつ。

十二時十五分からは「徳治郎先生を偲ぶ会」懇親会が開かれた。司会は日比野史郎副会長。小林会長は、「先生が永遠の憩いにつかれています。先生は『和顔愛語』で生涯を貫かれ、誰からも慕われました。優しさのうちに、指圧への強い意志と信念とが貫かれていました。先生の青雲の志は、母校の前身である指圧学院の創設へと開花し、今日の指圧の隆盛を見るにいたりました。門下生一同、恩師浪越徳治郎先生のご遺徳を讃え、偉大なるご生涯の足跡を偲び御霊に杯を捧げましょう」とあいさつし、献杯の音頭をとった。

## 好きな歌も 偲ぶ会

この後、先生の好きだった歌や詩吟などが次々に飛び出し、先生を偲んだ。最後に小久保和夫副会長の指揮で校歌を斉唱。午後三時、総会を終了した。

# ホリスティック医 学の自然治癒力

日本ホリスティック医学協会  
会長 帯津三敬病院院長

帯津良一

私は、大学を卒業して外科医の道に入り、東大病院にいたとき八光流柔術をやりました。この柔術は治療点に対して攻撃を仕掛けます。指圧でおすツボが攻撃点です。そのとき指圧を勉強させられました。

私の病院には、がんの患者さんが多くいます。症状がひどくなったり、精神的に不安になったり、慰めても、励ましても、どうにもならないときがあります。そんなとき指圧をしてあげると、何の不安も訴えず身をまかせてくれます。

今日はホリスティック医学のお話をします。これは人間丸ごとの医学ということで一九六〇年代にアメリカで起こった考え方です。

西洋医学が、部分だけをしっかりとみて、そこで得たそれぞれの知見を、ボトムアップ型に積み上げ、人間をみたことになる。そういう考えに陥ってきたことに對する反省から起こったも

のです。

現実には人間丸ごとというのは、この世には存在しない。理想の医学、目標医学としてとらえています。

人間には、身体性と精神性と霊性があります。英語でボディ、マインド、スピ

リットといえます。医療の世界で霊などというところ弾きされますが、WHOの健康の定義にも霊性というのが入ります。まだ承認されていませんが、二年半前にできた原案の中に霊的という言葉が入っています。

「仏教」という雑誌に原案作りに参加された京都大学の山口先生が「霊性と取り組みはじめたWHO」という原稿を載せられ、私は歓迎の意味で驚きました。

ボディ、マインド、スピリットの渾然一体となったものが人間丸ごとです。



記念講演をする帯津良一先生

私自身は、取り敢えず三つに分け、ボディには西洋医学を使う。マインドには心の治療法、スピリットには東洋の伝統医学と気に關することをやっています。

## 代替療法

代替療法というのはオルタナティブメディスンの訳語です。この言葉には現体制を越えて未来に向かうという頼もしさがあります。

この代替療法には、欧米では西洋医学以外、中国医学もインドの医学、西洋の伝統医学も全部入ります。

アメリカで西洋医学に対する批判からオルタナティ

ブメディスンという言葉が生まれたときは、かなり挑戦的な色彩が強く、これを嫌う人が多かったのです。日本は特殊で、漢方薬、ハリ灸という中国医学の団

体がありますが、この人たちは「われわれは伝統医学だ。その伝統医学を何で代替医学といわなけりゃならんのだ」と特に嫌います。

この気持はわかりますが将来をみたとき、伝統は伝統として守りながら、代替という枠組みの中で、西洋医学と一緒に統合成医学という道が開けていくだろうと思います。

## 人間丸ごとの医学

ホリスティック医学の真の意味での人間丸ごとがない現在、ボディは西洋医学でいいのですが、マインドとスピリットー心と生命に關しては代替療法を持ってこざるを得ないのです。

一年で随分違いました。代替療法を嫌っていた人でもいま平気で使います。世の中の流れは、ある方向へ必然性をもって動くのだからと理解しています。

私の所には、いろいろなステージのがんの患者さんがいます。私の所で診断が

死に直面するかも知れない病気になるからといって患者さんは、何も特殊な状況を強いられる必要はないのです。自分らしくのびのびとやっていけばいい。

その気持を築きながら、食事について自分の理念を作ってもらおう。幕内秀夫君が個人指導をします。彼の「粗食のすすめ」という本は、百万部売れています。

患者さんは、ゆったり指導を受けていればいいのに幕内君に「肉は珍味だが、毎日食べると珍味にならない。あまり食べない方がいい」といわれると、肉は食べちゃいけないと思ってしまいます。しばらくは我慢しますが、私に「先生、肉は絶対食べちゃいけませんか」と聞くのです。

私は「幕内先生は、あなたの食生活について軌道を作ってくれているんです。ルールをね。軌道とかレールは、踏み外すためにあるんですよ」といいます。すると「ええ」と聞き耳を立てます。

「肉も食べた方がいいですよ。食べたいと思ったら上等な肉を、上野の精養軒でステーキを食べなさい」というと、皆さん顔が明るくなります。

〈次ページへ〉

食事というのは喜びがないといけないもので、食卓に向かうたびに「あぁうまそうだ。よかった」という気持ちがあるから自然治癒力は高まります。食事で高まるというより、心で高まるのです。幕内君と私のコンビで指導しています。

もう一つ私は、気功の指導をしてきました。

心と食事と気功、この三つがある程度理解され、体の中に入ったら、それを基本にして、いま西洋医学で何ができるのか、手術か、抗がん剤か、放射能か、漢方薬は、ハリ灸はどうか、ということを考えます。

私の病院では、九十九人入院して、八割ががんの患者さんですが、みんな違うことをやっています。

人間というのは個性的で多様性をもってきます。それが内臓というレベルになると多様性ではない。例えば皆さんのお腹を開けて、肝臓をテーブルの上に置くなどの肝臓も似ています。それを置いて外へ出たあと、入れ替えたなら、どれが自分の肝臓かわからない。

階層の原理をケンブリッジ大学分子生物学にいた松本文二さんがいだししました。

自然界には、素粒子、原

# 東から風が吹いてくる

子、分子といくつかの階層があり、人間の近くになると、臓器、人間、その上の生態系、地域社会、地球、宇宙、虚空となります。

その内臓のレベルで進歩してきたのが、西洋医学です。動物実験を繰り返して、客観性、再現性を求めて今の立派な医学をつくらせた。この内臓レベルで得られた研究成果を一つ上の人間に当てはめるのは、無理なんだと彼はいいいます。



どうしてか。ある階層は下の階層を全部含んでおり、下の階層のない性質も持っている。それで一人前だから、足りない性格で上を判断するのは無理だという。

ホリスティック医学は、人間の階層でつくらなければならぬものです。臓器の階層で動物実験でつくった医学では駄目なのです。なぜかといえば、がん、エイズ、アトピー性皮膚炎、膠原病、これらは人間の階層で生まれた病気です。

## 心の医学

ホリスティック医学は心の医学であり、生命(いのち)の医学です。私が、この道に入ったのは、そのことに気がついたからです。

西洋医学は物凄く進歩しているのに、がんの治療成績は、いくらも上がってない。なぜだろう。都立駒込病院にいた四十歳前半でしたが、ふっとそう思いました。

西洋医学の限界は何か。

それは臓器のレベルということ。人間の病気を治すには部分と部分のつながりに目をつけなければならぬ。目に見えないつながりをただして、間を埋めていくべきだ。そうなる中国医学です。

私は、八光流柔術に一時夢中になりました。そのとき思いついたのは、技に習熟するには、その技固有の呼吸を覚えなければならぬ。これは間合とかコツという意味の呼吸ですが、調和丹田呼吸法を習いに行きました。

やっているうちに呼吸法の意義に魅かれました。調身、調息、調心、気功の一つの原理です。

吐く息で自分の生命の場のエネルギーを情報化して宇宙のはて虚空に伝える。吸う息であちらの情報をもらう。このやりとりです。

虚空の方が場のエネルギーが大きいから、こちらの場のエネルギーが高まり、自然治癒力が高まります。

呼吸法が面白くなった。そんなとき中国へ行っただけです。一九八〇年です。がん治療に中国医療は何をしているんだらうと非常に期待して行きました。

上海と北京のがん治療施設を回りましたが、中西医结合は名ばかり、西洋医学へ行くと、中国医学をまったく無視していました。

私は漢方薬やハリ灸には感動しなかったが、気功を見た途端「これだ、これを見た日本に広めなければならぬ」と持って帰りました。

だけど、帰ったばかりは誰も相手にしてくれない。「これでは駄目だ」と思ったのですが、西洋医学の限界を知ってしまうと「絶対東から風が吹いて来る」という物凄い予感が確信に変わった。それで病院をつくり、十八年やって、その通りになりました。

## 宇宙まで

代替療法の、世界的に盛り上がりが出てきています。アメリカのハーバード大学で今年の春、代替療法のシンポジウムがありました。

イギリスのケンブリッジ

大学で、去年の秋、代替療法のワークショップをやりました。私も行って来ました。

代替療法が出てくると、西洋医学と一緒に統合医学の時代になります。それができるときホリスティック医学になります。

人間丸ごとの医学で、宇宙のはてまで対象です。生命の場をみる医学ですから、前世も死後の世界も全部かわってきます。

そういう中で医学がぐんぐん動いてくるという予感がしています。二十一世紀に大きく様変わりして人間の医学となります。

これから大事になってくるのは、気とか心、目に見えない世界です。

場というのは、空間の中に相互関係を保って営みをし、エネルギーを出す電磁場です。電気や磁気が満ちていて、刻々変化し、この部屋のエネルギーを高めます。落としたりします。

みなさんの体の中の場のエネルギーが高まり、いい循環が起こります。一人一人が、自分の場を高めていく。死んで終わりでなく、死後も高めていく。それが、これからの医療であり、新しい意味の養生だと思えます。

# 一人一人場を高めてゆけ



# 秋 爽やか 母校体育祭

## 10月10日「気力 体力 母心 2001」

母校の第三十回体育祭が秋晴れの十月七日、文京区立第三中学校で「気力、体力、母心二〇〇一」のテーマのもと挙行された。

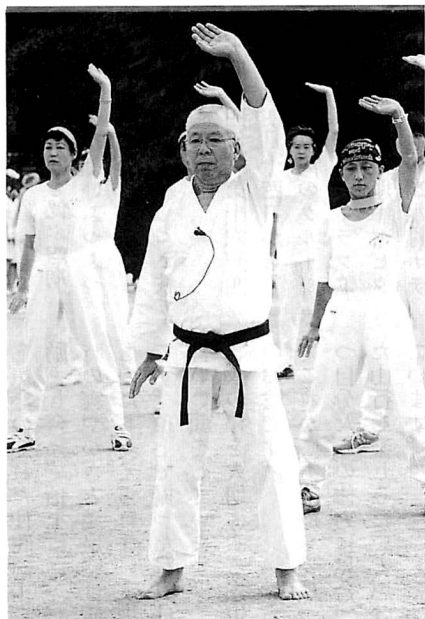
来賓、教職員の迎えるなか、学生は、眩しいほど純白のユニフォームで堂々の入場式。大塚俊幸先生の開会宣言。国旗掲揚、浪越満都子校長のあいさつ。宣誓は柳将博体育祭実行委員長(三D)が行った。

菅野つる子さん(二C)の指導による準備体操の後女子五十メートル競争から始まった。この日ばかりは童心に返り、各競技で爽やかな汗を流した。

優勝は三年A・B組。閉会式では、拍手と歓声のなか、校長から表彰状、優勝カップ、盛りたくさんの記念品が授与された。

アトラクションの部では三年C・D組の「太極拳と空手」が最優秀賞に選ばれ万雷の拍手のなかで記念品が贈呈された。

小久保和夫先生の指揮で校歌斉唱、小林秋朝同窓会会長の発声で万歳三唱。国旗降納、石塚寛副校長の閉会宣言で終了した。



# 田沢湖・男鹿半島を訪ねて

第十五回 四期の会

瓦 和夫

平成十三年六月三日午前  
十時、根岸、石原、貝塚、菅野、木村、那須、永山、山川各先生と篠田社長、瓦の十名は東京駅に集合。東北新幹線で田沢湖駅に二時七分着。山荘差し回しのバスで田沢湖を一周。

湖はカルデラ湖(直径数キロ以上)で水深が日本一の四百二十五メートル、世界第十七位。湖面は美しい瑠璃色を呈していた。

山荘・百城(もしろ)は昔ながらの温泉宿。先着の山男・山菜とりの名人古跡先生と友人、菊池社長夫人と合流。夜は歌の競演。

明けて四日、宿のバスで男鹿半島を一周。ガタガタの山道をひた走り、寒風山山頂へ。雄大な男鹿半島は一望にあり。"おう!"と嘆声をもらす。

途中の生保内町に武家屋敷がある。秋田、南部両藩を結ぶ要地で番所が置かれ宿場として栄えた所。

先達川沿いに温泉宿があり、鶴の湯は、療治の名湯として知られた秘湯で、今

でもランプを灯し、囲炉裏を囲んでの食事である。夕闇迫る頃、山荘に帰る。

翌五日、女将さんの運転で小岩井牧場を見学、ソフトクリームに舌鼓をうつ。

盛岡から新白河に移動。菊池様ご主人の案内で名所旧跡を巡り、夜は那須一番といわれるホテルピエナルに宿泊のご招待を受け、最上階のレストランへ。

総ガラス張り、眼下に茫漠たる山野が広がり、豆粒ほどのヘッドライトが点滅

小川俊成先生(二十八期)と治子先生(三十二期)のご夫妻が、船橋市金杉で指圧治療院「全機会」を開設して十五年になる。この患者さんが集まり「こまくさ山行会」が発足。登山で体力をつけ、指圧で体調を整えている。

山歩きの時、ご夫妻はいつも最後尾から見ている。調子が悪い人はその場で治療する。メンバーのお二人から一文が寄せられた。

古橋 はつよ

全機会はとても明るい雰囲気の治療院です。温厚な俊成先生、元気はつらつと気配り上手の治子先生。お二人は、私たちのために自



して森の中を走って行く。キャンドルの紫紺の明かりの中、ピアノの旋律を聞きつつ、料理とワインで夜は更けていく。

六日、バラ園へ。世界中から集めたバラを鑑賞。昼は菊池社長直営の店でめん類を腹一杯、御馳走にあずかり、めん造り成功のご苦労を拝聴、人生珠玉の言葉に感服。新白河駅までお見送り下さり、一同心をこめて感謝と御礼を申し述べて、帰京した。

田沢湖に恩師を偲ぶ四期会。心のかよいふつつと湧く

根岸 とき枝

平成十四年、第十六回四期の会は四月十四日から十六日まで東京湾のクルージングと東京デズニールランドです。宿泊は銀座キャピタルホテルと池の端水月ホテル 鷗外荘の予定。

市川 喜代江

気心の知れた仲間同士。励まし合って頂上に立った時の爽やかさと満足感は何ものにも変えられない宝物です。頂上で撮った写真は皆いい顔をしています。人の和を大切に先生のお陰です。

治子先生に長年お世話になり、月二回の治療で元気です。山登りのお誘いを受けたのが五年前。年齢的にも不安な気持で、お仲間に入れていただきました。

それが楽しい、素晴らしいお仲間で、全くの初心者でしたが、回を重ね、さまざまな体験をして、知識や技術や装備のことも学びました。楽しい山登りになってきました。もう四十五山くらいの頂上を踏むことが出来ました。

楽しいこと、苦しみながら頂上に登れた感動、良い仲間にも恵まれたこと、大袈裟ではなく人生が変わりました。

俊成先生、治子先生には何事も前向きに頑張ることを学ばせてもらいました。

## 私の先生 小川俊成・治子先生

# 登山と指圧

## 私の仲間 こまくさ山行会

分の体力や時間を惜しみなく与えてくださいます。

治療室に入ると「お早うございます」と、明るく声を掛けてくれます。治療を受ける前に、元気をもらっ

待合室では、患者さん同士が、お料理や趣味の話に花を咲かせ、ちょっとしたサロンのようです。

ここは先生と患者、患者さん同士の交流があるアツ

ているなという感じですが。治療中も、こちらの話すことを辛抱強く親身になって聞いてくれ、適切なアドバイスもして下さるので遠慮なく話ができます。

トホームな治療院です。

今から六年前に、こまくさ山行会が発足しました。

五十代、六十代の男性と女性の混合グループで、大

体月一回のペースで山歩き



山行の計画や切符の手配なども、先生ご夫婦が率先してやっております。

# 寄付金賛助者ご芳名

会員皆様から寄付金を頂戴いたしました。

平成十三年三月二十七日から十月九日まで  
四六一件

一、七五五、三四八円  
ご芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。○数字卒業期

(敬称略、順不同)

- ☆九万八千円⑩伊藤圭一
- ☆五万円 浪越和民
- ☆参万五千元④平江貴仁
- ☆参万円②山崎栄
- ☆貳万六千円②井尾栄
- ☆貳万貳千円②尾上美夫
- ☆貳万壹千参百四十八円④濱口太一
- ☆貳万円⑥石垣惟一
- ☆壹万八千円②井上征夫③丸井秀人⑧小山福松
- ☆壹万五千元②安倍和夫
- ☆壹万参千円②小野勝一①⑥上田幸子①⑨佐藤玄祥
- ☆壹万貳千円⑨池永卓雄
- ☆壹万円③⑩宮田経子③③岩見和夫④④鈴木みさ子③③柴田芳

# 総会お祝いご芳名

- 一四件 二〇万円
- ☆参万円 浪越和民、浪越満都子、稲場哲夫
  - ☆壹万円 日本指圧協会、

市③小倉義夫③高橋洋子⑨日野敏造②菊池松雄⑦小林秋朝⑧井芹幸夫③大西正悦③稲場哲夫③広明文夫②⑧畑中糸美⑨舟津昌亮③田島市五郎③田中美次③横川純夫③小泉鐵夫②角正安⑨山岡祥宏⑦高橋弘安③青葉美佐子②遠藤ミツ③小幡真佐子⑩佐藤一美③神田勇④鈴木豊人②池永清⑦水岡道三④福盛美智子②紫忠②海洋津秀之助②川島栄③齋藤鉄夫

☆八千円④村越てい子⑦小嶋忠雄②天野芳子⑤和田常男⑨小野寺英男⑤加志村富喜子④徳永勇治④向井剛⑨小林真希⑩國田イト子④田澤千代子④小谷田作夫②小林隆③齋藤啓介③山下泰治

☆六千円②高坂貞造②野口伸二

☆五千元④石原博司②小美濃隆⑩鈴木ヒデ③北川廣治④山田滋⑧濱中喜美子②笠原正親④五十川直孝⑤稲場

豊②皿井千代子②西千鶴子⑧友部聡⑥齋藤嘉子②荒川シヅ④荒川隆司⑧赤澤えい②福田ゆきる③襲田佳男③横尾益夫②結城國夫③才原節子③小坂徹④根岸とき枝②五階堂静秀⑤樋口正汎⑦鈴木篤①小松崎義雄②志賀兼松⑤鶴見せつ子⑩荻野キクエ⑦山崎勝充②海上富雄②吉川晶作

☆参千円⑨川上よし

太郎⑦松永哲夫②蔵前範子②林なを①佐藤脩⑥清水義嗣②勝尾圭三③小川治子⑦内城勇造④石崎房枝②滝谷泰正④伴重二②尾村勝一②新井兼丸②尾形千草②千葉とき子②林五郎②高野助二②伊村廣③後藤半一③伊藤勇③福井素子⑤大村和美③本間富美子②岩井日出盛③二沢茂②坂井淑②本間詩朗②沢辺澄②榎本紀次⑧石川せつ④廣川良昭③山手文雄⑨青木宏⑩小出忠志⑩高野正之⑨石塚トヨ⑥藤原博⑤松本仁美④村井美枝子⑨岡田茂子⑨神田咲江⑥今井美奈⑤石渡ハル②浜谷惠美子⑦喜多村葛枝③浅野籍宏⑨平良千代子②小林きよ多④渡辺あき子⑦吉田節子①植村園枝④高野昇司②柳澤光男③櫻井康雄⑧山川鶴吉②藤田一彦②武藤圭子⑤三河

哲夫③藤田和子②山手義彦①原田ユキ子②片岡弘昌④鈴木正次⑧布施ソヨ②平沢紫郎⑤飯島治雄①相澤君江⑤大木愛子④玉造千恵子⑦仲里高明③馬場正義⑤岡本一宏⑧後口智⑤中島喜一②平島利文⑤中山節③金子恵哉②宮脇利博③森岡忠司②相野谷真①持木光子③丸山眞一⑦川原善次郎③大塚俊幸②岩切秀樹③宇佐美七海①大日方子⑥濱田洋③池田知以子②前野峯子③柄澤君子②佐藤栄江子①増田清一②上仲誠夫①伊藤玉⑧原忠雄③日野史郎③山越健司⑨山田きん⑧中川登代子⑥藤原モト⑦大石たま子⑦釘崎幸義③池田純一⑩高橋和子④胡桃愛子④若杉ミイ⑩中村健一③鈴木孝雄(学院) 松本一雄⑤近藤くに子⑨四條静江②佐久間健司⑤小松豊子③小松哲太郎⑧中村フミ子②菅原秀夫⑨野口幸子⑤糸井主好⑦糸井正子③花垣浩美③石川明子⑥原田隆弘④藤沼しず子⑤小久保和夫③栗田繁好②関口隆子⑧長嶋昌子②池上文得⑥藤井宣政②米倉裕子③須賀国夫⑤川上千代子③関裕子

☆貳千円⑩中村由子③鳥山等②鳥山久子④虎谷英平③高橋宏②江藤久男④山崎加代子⑦會澤渉②田島貞次郎

④高山益太郎⑦木村全章⑦木下裕司⑨佐藤一雄②高木二朗太④横山義人④伊藤次雄④大砂賀重紀子③肥沼京子④山川友枝③鈴木由起子②玉川隆⑩林邦子⑨鈴木玉子③齊坂京子③松井登久子⑨森尻英子③末永洋子⑤飯塚敏雄⑨川村スメ②窪悦基③井上雄二朗②高田とし子②時重由紀子⑤鈴木きん⑤岩崎幾雄⑦戸来みや子②小松崎ツネ⑤船田弘子⑦山田和子③間田十喜子⑦金山幸雄③西井一志⑨江戸妙子③柴田ひろみ⑩松嶋丈介⑩和田正行④延原澤子⑩岸田きく②奈良千代②小林武久②須田修

☆壹千円②高木次郎③和田武④関智四郎③平野キミイ②清水昭三⑨原田秀人②須田麻紗子②加藤たけ③中島祥景⑤田島公代②渡辺静江④鈴木喜也③岡峰有紀③根岸正行⑤工藤文宏⑤川村美都子⑤水上和好⑤稲澤章④川村泰司②北村三夫⑧野村正夫⑩石川辰男①阿部サト⑦瀬戸桂子⑦大谷信子②塚本浩子⑥佐藤美二①小坂八郎⑥竹村ナミ子⑥石原和信②野田良行③橋詰兼一③小山二郎③下田政一③能勢大光⑤内川富雄③吉野順一②服部青香①阿部きみ子⑨竹之内怜子⑦川村達伸③鳥実

専二⑤荒井リキ②大森昭代④村田佳代子⑦寺由美子③緑川敬子③湯口信雄④辻村喜四郎②齊藤満徳⑨小倉和子⑩山中武⑦平井信穂⑦平井浩子④宮田嘉三②本名文子③岡田主③前村満夫④野田直行③森本和男⑤幸阪隆⑤高澤佐恵子⑤吉田勇市⑨小熊里子⑧長山昌央④永山琶奈子⑦上田桂三⑩佐原芳子③宇田川昌和③高野賀史③筑後かよ子④松本輝男④林多恵①伊澤昭雄②石橋ソヅ②因泥武志⑨三好英子⑤駒田和男②鳩宿照男③田中真司⑤松口一英①荒木宏昌⑧佐藤允紀⑦高野文⑦田中保②福田慎吉⑦白澤正和③金子隆⑧中島準蔵③緒方芳彦③阿部初枝⑦伊地知啓介③佐藤良一④高柳茂男③佐藤三子③辰巳信重⑤山口徳蔵④高田弘之⑧竹内榮一②鈴木章④本間博③藤本耕作③天野幸好③木暮晴雄④齊藤久夫④上田香織③鶴田弘二③千葉拓美③松木正三④日原正人④三村公明③松岡遼子⑨比留間民子⑧福田タカ子⑤福田忠夫⑧黒岩福太郎③三條美枝子②高橋里美⑦黒岩文子③齊藤美恵子③西森健一⑦小松せつ子④瀬田松悦子②三浦通代②増田敏郎②山崎蒼⑦今野晴仁②竹内一郎⑧阿部はるみ⑦清

④高山益太郎⑦木村全章⑦木下裕司⑨佐藤一雄②高木二朗太④横山義人④伊藤次雄④大砂賀重紀子③肥沼京子④山川友枝③鈴木由起子②玉川隆⑩林邦子⑨鈴木玉子③齊坂京子③松井登久子⑨森尻英子③末永洋子⑤飯塚敏雄⑨川村スメ②窪悦基③井上雄二朗②高田とし子②時重由紀子⑤鈴木きん⑤岩崎幾雄⑦戸来みや子②小松崎ツネ⑤船田弘子⑦山田和子③間田十喜子⑦金山幸雄③西井一志⑨江戸妙子③柴田ひろみ⑩松嶋丈介⑩和田正行④延原澤子⑩岸田きく②奈良千代②小林武久②須田修

☆壹千円②高木次郎③和田武④関智四郎③平野キミイ②清水昭三⑨原田秀人②須田麻紗子②加藤たけ③中島祥景⑤田島公代②渡辺静江④鈴木喜也③岡峰有紀③根岸正行⑤工藤文宏⑤川村美都子⑤水上和好⑤稲澤章④川村泰司②北村三夫⑧野村正夫⑩石川辰男①阿部サト⑦瀬戸桂子⑦大谷信子②塚本浩子⑥佐藤美二①小坂八郎⑥竹村ナミ子⑥石原和信②野田良行③橋詰兼一③小山二郎③下田政一③能勢大光⑤内川富雄③吉野順一②服部青香①阿部きみ子⑨竹之内怜子⑦川村達伸③鳥実

④高山益太郎⑦木村全章⑦木下裕司⑨佐藤一雄②高木二朗太④横山義人④伊藤次雄④大砂賀重紀子③肥沼京子④山川友枝③鈴木由起子②玉川隆⑩林邦子⑨鈴木玉子③齊坂京子③松井登久子⑨森尻英子③末永洋子⑤飯塚敏雄⑨川村スメ②窪悦基③井上雄二朗②高田とし子②時重由紀子⑤鈴木きん⑤岩崎幾雄⑦戸来みや子②小松崎ツネ⑤船田弘子⑦山田和子③間田十喜子⑦金山幸雄③西井一志⑨江戸妙子③柴田ひろみ⑩松嶋丈介⑩和田正行④延原澤子⑩岸田きく②奈良千代②小林武久②須田修

水みち子⑩眞間時男④芦立  
 金治⑨高久田総子③福原浩  
 文⑤大貫久美子①石原雪江  
 ③田中伸明⑨渡辺光枝⑩福  
 安志泰⑩山田淳⑨竹本豊治  
 ②小川久子⑦谷口隆⑦小林  
 正弘④井原重光⑩岡元満③  
 大岡正之輔④岡本草苑子②  
 鈴木健一⑧鈴木林三③末岡  
 奈津子④末岡ゆみ子③松本  
 喜照④河江春美④冲原玉章  
 ⑤大野元久②青柳勇②鈴木  
 啓一②大庭新治③山本修③  
 沼尻町子④竹内淑元④武田  
 チヨ③松本定久③品川康弘  
 ⑩阿部聡⑦菅野留美子⑧藤  
 井厚子③川名良恵⑦川名朝  
 子②佐武千代子③本持英児

# 第一回芸能大会開く

## 浪越徳治郎杯 争奪各期選抜

## 歌に踊りに華やかに

同窓会の役員会、運営委員  
 員会が、十三年十月三十日、  
 母校で開かれた。会議では  
 ①平成十四年度同窓会通常  
 総会の日時、場所②会報第  
 二十二号の発行③第一回浪  
 越徳治郎杯争奪各期選抜芸  
 能大会④キロロ研修旅行が  
 提案され、次のように決定  
 した。

第一回浪越徳治郎杯争奪  
 各期選抜芸能大会は、平成  
 十四年二月十一日(月)建  
 国記念の日の午前十一時か  
 ら午後三時まで開催する。  
 会場は東京・文京区の文  
 京シビックセンター二十六  
 階、スカイホールの予定。  
 先の運営委員会で「同窓  
 生が集まって楽しめるもの  
 を何か企画せよ」という要  
 望があり、その一つとして  
 提案したもの。  
 出演は、在校生を含む各  
 期の代表一組。今回は各期  
 の運営委員が推薦する。  
 演目は、カラオケ、コー  
 ラス、日舞、民謡、民舞、  
 謡曲、吟詠、剣詩舞、楽器  
 演奏、声帯模写、その他、  
 ジャンル不問。  
 優勝一組、準優勝二組、  
 同窓会会長賞一組、特別奨  
 励賞一組、熱演賞一組。  
 優勝、準優勝の三組は同  
 窓会総会の懇親会に出演。  
 この大会を毎年続け、平  
 成十八年、徳治郎先生生誕  
 百年の大会で「グランドチャ  
 ンピオン」を決定する。  
 参加費は出演者を含む同  
 窓会員は一人三千円、家族  
 など同伴者は一人二千元。  
 大会実行委員長は小林秋  
 朝、実行委員は柴田芳市、  
 小倉秀雄、稲場哲夫、佐藤  
 玄祥、山田紀美子、中島祥  
 景、児玉誠、塩野康利、藤  
 沼しず子、横川純夫の各氏。  
 審査委員長は青木宏氏、審  
 査委員は実行委員が兼任。

平成十四年度 日本指圧専門学校同窓会通常総会・懇親会 六月九日開催

# 会場は東京・椿山荘

平成十四年度同窓会通常総  
 会・懇親会は六月九日(日)  
 午前十時から午後二時三十分  
 まで開催する。

会場は、東京・文京区の椿

山荘プラザ館五階、オリオン  
 Iと決定した。  
 総会では平成十三年度事業  
 報告、会計決算報告、監査報  
 告、十四年度事業計画案、予

算案が提案審議される。また  
 現役員三年間の任期満了のた  
 め新役員の選任が行われる。  
 記念講演の講師については  
 折衝中。

## キロロの 研修旅行

来年2月17日  
から19日まで

出演希望者は「卒業期、  
 氏名、演目、必要な時間、  
 連絡電話番号」を書き、日  
 本指圧専門学校同窓会担当  
 の黒沢純一氏まで文書で申  
 込みをして下さい。  
 出演者はテープを用意す  
 る。不明な点は大会総合司  
 会の高野昇司副会長(〇二  
 八四一四一六一四四)ま  
 で問い合わせすること。

キロロ研修旅行は平成十  
 四年二月十七日(日)から  
 十九日(火)の二泊三日。  
 第一日目は札幌で自由行  
 動、その後ホテルに到着。  
 二日目の午前中は浪越満  
 都子校長の指圧実技指導。  
 午後からスキー組と観光組  
 に分かれて、冬の北海道を  
 楽しむ。三日目も同様で、  
 スキーと登別・札幌観光。  
 費用はスキー組四万九千  
 円、観光組五万六千円。  
 先着三十名で締切。申込  
 は同窓会担当黒沢氏まで。